言語文化

指導目標

言葉によるものの見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 きるようにする。 (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会

に関わろうとする態度を養う。

教材 教科書:「新編言語文化」(東京書籍) レポート

学習書:「新編言語文化」(NHK出版) 面接指導 標準時間数:3時間(※面接指導減免8割の学習者の必要時間数は1時間)

レポート・学習ノート 放送 全84回 (N-gaku Online Spaceで視聴。高校講座HP視聴可。)

中間到達度チェック・試験 中間到達度チェック (9月) ・年度末試験 (1月)

単位	3 単位
評価	【①知識・技能】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。
	【②思考・判断・表現】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。
	【③主体的に学習に取り組む態度】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェック、レポート提出状況(提出期限)、スクーリング出席状況(必要時間数の出席充
	足)、放送視聴状況にもとづき評価します。上記①~③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。

	添削指導(レポート)		・前指導(レポート) 面接指導(スクーリング)		放送(NHK高校講座)		オンライン指導	中間到達度チェック 年度末試験
月	回(提出期限)	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			1 2	① 第1回レポート 指導単元:「古文に親しむ」 学習目標:古文への親しみを感じる。 学習活動: ・「言語文化」ガイダンス ・主体性を持って言葉を扱う姿勢を培う。 ・作品内容と、自分の感性や考え、日常の出来事などとを重ねる姿勢を持つ。 ・今現在使っている言葉と、古文、漢文の言葉とのつながりを意識する。共通点と違いを意識する。	1 2 3 4	古文入門 「古文に親しむ」 『宇治拾遺物語』児のそら寝① 児のそら寝② 『今鏡』白波と用光	「言語文化オリエンテーション」 動画配信	
			3	② 第1回レポート 指導単元:「古文に親しむ」 学習目標:古文への親しみを感じる。 学習活動: ・音読することで、古文のリズムと雰囲 気を味わう。 ・精読ではなく、内容に注目することを 主眼とし、親しみや面白さを探す。 ・文法事項【歴史的仮名遣い】		『宇治拾遺物語』絵仏師良秀① 絵仏師良秀② 随筆(生きる喜び) 「さくらさくらさくら」① 「さくらさくらさくら」②		
			1 2	③ 第1回レポート 指導単元:「児のそら寝」 学習活動: ・主語を押さえ展開を追う。 ・「児」と「僧」の関係を踏まえてストーリーを追う。 ・「児」の「念じ」るという動作の意 図、「えい」という。ショのタイナる。 ・「の笑いのきっかけに注目である。 ・文法事項【歴史的仮名遣い復習】	1 0 1 1	言語活動「花」と言えば「桜」? 「美しい」ということ① 「美しい」ということ② 随筆(日々の思い) 『徒然草』「亀山殿の御池に」		
5	第1回 5月20日	古文入門(古文の世界へ) 「古文に親しむ」 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」	3	④ 第1回レポート 指導単元:「絵仏師良秀」 学習目標:古文への親しみを感じる。 学習活動: ・「絵仏師」という仕事および良秀の人 物像を把握する。 ・「人の命」と「仕事」のいずれを優先 するかという良秀の「価値観」を評価す る。 ・自身の「価値観」を考える。 ・文法事項【歴史的仮名遣い復習】	1 4 1 5 1 6 1 7	「今日はそのことをなさんと思へど」		
			1 2	⑤ 第2回レポート 指導単元:「さくらさくらさくら」 学習目標:随筆を読んで、筆者のものの 見方や感じ方を読み取る。 学習活動: ・日本人と外国人との比較を通して、日本人の感性を明らかにする構造を把握する。 ・「日本の春という舞台の全て」を含んだ存在だという筆者の「桜観」に触れ、自子在だという筆者の「桜観」に触れ、自子な時成、随筆の特徴を学ぶ。	2 0 2 1	「うつくしきもの②」 漢文入門 訓読の基本(1)訓読 訓読の基本(2)格言		

6	第2回 6月20日	随筆(生きる喜び) 「さくらさくらさくら」 「『美しい』ということ」	3 4	® 第2回レポート 指導単元:「『美しい』ということ」 学習目標:随筆を読んで、筆者のものの 味方容感じ方を読み取る。 学予活動: ・抽來なの中の表現から客観的に読み という概念につい る。 ・筆者の具体的な「器」の生み出した記 を書者の「『物物語』が生まれるとる「美し という、筆者が考える「美しとさ」を を理解する。 ・筆者の考えを読み取った上で、 りの「うつくしさ」を考える 現について、内容を一般化して読解す る。	2 3 2 4	「五十歩百歩」 「借虎威」 詩歌1(命をうたう) 「柳あをめる」短歌①		
7			1 2	⑦第3回レポート 指導単元:「うつくしきもの」 等者の表現に慣れ、深める。 学習活動がの比較があらくし」とい う言音が動けのとないないのがでは、 ・前にはないでは、 ・前にはないでは、 ・でには、 ・でには、 ・でには、 ・では	2 9			
	第3回 7月20日	随筆(日々の思い) 「うつくしきもの」 「雪のおもしろう降りた りし朝」	3 4	 ⑧第3回レポート 指導単元:「雪のいとおもしろう降りたりし朝」 りし朝」標:古文の表現に慣れ、筆者の考えを読み取り、自分の感覚を深める。 学習活動: ・場面設定を把握し、セリフが誰の言葉か、「をかしかりしか」という感情は誰のものか、内容を整理する。 ・手紙のやり取りの中にある、日本人の四季折々の風流心などを知る。 ・日本人の感性や文化のつながりを感じる。 ・文法事項【付属語】「助詞」「助動詞」とはどういうものか、基本事項を整理する。 	3 3	『梁塵秘抄』『閑吟集』		
			1 2	第4回レポート 指導単元:「訓読の基本」 学習目標:漢文の特色を知り、決まりを 理解する。漢文の世界に親しむ。 ・中国と日本、言葉の繋がりを意識する。 ・言葉でも文化でも、漢文や漢文で描かれた内容が切り離せないものであることを学ぶ。項【訓読の基礎、特に返り点】・記号にしたがって日本語として語順を並べ替えられるようにする。				
8			3 4	(0) 第4回レポート 指導単元:「汝事成語」 学習目標:漢文の特色を知り、決まりを理解する。漢文の世界に親しむ。 学習活動: ・故事成語の出典を学び、そこに見られる思想に触れる。 ・日常の中にある故事成語や、中国文化などを意識して調べてし文】 ・返り点の動きを理解したうえで、実際の漢文を書き下し文にする。 ・助詞助動詞にあたる言葉をひらがなに変えることに注意する。 ・再荒くでについては、その働きや動きを理解する。	3 5 3 6		「中間到達度チェック実施前の 前半のまとめ」動画配信 8月後 半	
			1 2	① 第4回レポート 指導単元:「柳あをめる(短歌)」 「雪の深さを)俳句)」 学習目標:短歌、俳句に親しみ、深く読 み学習活動: ・短歌俳句を通して描き出されている心 情や情景を、作品の言葉を通して読み取 る。 ・自分なりにひかれる作品について音読 したり、描かれた世界についてイメを を膨らませたり、いろいろな方法で鑑賞 する。	38	小説1(触れ合う心) 三浦折郎「トトかつ」(D		中間到達度チェック レポート第1回〜第3回 ○児のそら寝 ○さくらさくらさくら ○うつくしきもの

9	第4回	漢文入門 「訓読の基本」 「故事成語」 詩歌 1 (命をうたう) 「柳あをめる(俳句)」 「雪の深さを(俳句)」	第5回レポート 指導単元:「折々のうた」 学習目標: 詩歌に表されたものの見方や 感じ方、考え方を捉え解釈する。 学習活動: ・短歌俳句の学習に続いて、韻文のリズ ムを味わい、表された感じ方、考え方を 捉える。 ・作品自体から自分自身はどう感じたか を表現し、それと筆者の解説とを比較 し、共感できるところと差異を確認する。 ・表現技法を学ぶ。 ・各歌集の特徴や文学史的事項の整理	
			(3) 第5回レポート 指導単元:「漢詩」 学習目標:漢詩を繰り返し音読し、優れ た表現に親しみ、表現された情景や心情 を味わう。 学習活動: ・音読を繰り返す。訓読の独特のリズム を感じる。 ・作品の背景や、作者の人生などから作 品の理解を深める。 ・漢詩の形式や決まりを学ぶ。 ・特に詩の形式や沖韻、対句といった基本事項は、国語の素養、教養として理解 しておきたい。	
10	第5回	詩歌2(うたの心) 「折々のうた」 漢詩(漢詩を味わう) 「漢詩」	(4) 第6回レポート 指導単元:「とんかつ」 学習目標:表現に注意しながら登場人物 の心情を読み取り、小説に親しむ。 学習活動: ・想像豊かに、登場人物の関係や心情を 読み取る。 ・「とんかつ」という料理が持つイメージや、舞台となる地域の雰囲気、登場人 物の容姿など、表現されたものから心情 を探りながら詳細に読み進める。 ・物語の構造や視点を意識させ、物語の 読み方を深める。	
			第6回レポート 指導単元:「羅生門」 学習目標:表現に注意しながら登場人物 の心情を読み取り、小説に親しむ。 学習活動: ・冒頭の舞台設定を、表現にこだわって 詳細に味わう。物語の客観性を高める周 西の描写、芥川の優れた表現を味わいたい。 ・物語の展開を把握する。特に、下人の心境の変化を追いかけたい。 ・登場人物の考え方を捉え、自分なりの 考えと照らし合わせる。 ・芥川の「羅生門」と古文における「羅 生門」とを比較して味わう。	
11	第6回	小説1(触れあう心) 「とんかつ」 小説2(葛藤する心) 「羅生門」	 ⑨ 第7回レポート 指導単元:『伊勢物語』「芥川」「筒井筒」 学習目標:物語内容を的確にとらえ、文章展開や表現の特色に注目しながら読み味わう。 学習活動: ・表現を適切に捉えながら、物語の展開を理解する。「芥川」では、「盗み」という言葉にまどわされないように注意する。・人物の心情理解を物語と和歌から深めら、現代の感覚だけで登場人物の状況や考えを理解するのではなく、時代背景、かつての文化を調べたり把握した上で、丁率に読み取る。・恋愛や結婚、文章を元にした他の絵画や工芸など、作品から広がる世界を味わう。 	
12			第7回レポート 指導単元:『平家物語』「木曽の最期」 学習目標:物語内容を的確にとらえ、文 章展開や表現の特色に注目しながら読み 味わう。 学習活動: ・平家物語の背景を確認し、場面の理解 を正確に行う。 ・木曾殿と今井四郎の主従関係を複数の 場面で読み取る。 ・時代を超え共通する人間の哀感を味わう。	
	第7回 12月15日	物語(古人の生き方) 「芥川」 「筒井筒」 「木曽の最期」	(B) 第8回レポート 指導単標:『論語』 学習目標:孔子の考えを捉え、ものの見 方や考え方を豊かにする。 学習活動: ・現代にも影響を与える孔子の思想を読 みとる。 ・表現された考えに対し、自分なりに感 じたことや考えをまとめる。 ・「学ぶ」「人間」「政治」といった テーマに対して何を大切だと考えるか整 理する。	

			1 2	⑩ 第8回レポート 指導単元:「Iwas born」 学習目標:詩の表現やリズムに親しみ、 深く読み味わう力を養う。 学習活動: ・音読を、散文詩の表現やリズムを捉 え、内容を理解する。 ・「僕」の少年時代の気持ちや流れを しっかり把握する。 ・「父」の話の内容を理解し、そこにこ められた思いを読み取る。 ・「父」の話を受け止めた「僕」の思い をまとめる。		紀行(旅の心) 『奥の細道』「旅立ち」 「平泉」	年度末試験 第4回~第6回 ○訓読、故事成語、漢詩 ○折々のうた ○とんかつ・羅生門
1	第8回 1月10日	論語 『論語』 詩歌 3 (命をうたう) 「I was born」 紀行(旅の心) 『奥の細道』	3 4	② 第8回レポート 指導単元:『奥の細声 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でが、 では、 では、 では、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが	71 72 73 74 75	史話(史話を楽しむ)	
			1 2	② 第9回レポート 指導単元:「夢十夜」 学習目標:多様な小説を読んで、読書の幅を広げ、豊かな感性を養う。 学習活動: と表現に即して丁寧に読み、作者が作り出す不思議な世界観を味わう。 ・答えがない問いを自分なりに立てたり、考えたりする面白分を感じる。 ・第一夜の二人の関係、第六夜の時代を超越した舞台設定、それらを通して何を表現しようとしたのか、自分なりの解釈する。	7 7 7 8 7 9 8 0	小説3(現実の向こう側) 夏目漱石『夢十夜』① 『夢十夜』② 『夢十夜』③ 『夢十夜』④	
2	第0回	史話(史話を楽しむ) 『三国志』 小説 3 (現実の向こう側) 「夢十夜」 「デューク」	3 4	②第9回レポート 指導単元:「デューク」 学習目標:多様な小説を読んで、読書の 幅を広げ、豊かな感性を養う。 学習活動; 「デューク」・丁寧に心情の変化を追い、作品を自分 なりに解釈する。・「デューク」を失った悲しみが、どの ように変化していくかを追う。・作品に散りばめられた伏線や描写を味 わう。・作品に散りばめられた伏線や描写を味 わう。・「少年」が「デューク」であったとし いののために「私」の前に現れたの か、しつかり考えたい。・最後の「私」の心境を自分なりに説明 する。・多様な読書活動を心がける。	8 1 8 2 8 3 8 4		
3			1 2				
			3				